

品番		
CS-P28P3U	CS-P71P3U	CS-P45PM3U
CS-P36P3U	CS-P80P3U	CS-P56PM3U
CS-P45P3U	CS-P28PM3U	CS-P71PM3U
CS-P56P3U	CS-P36PM3U	CS-P80PM3U






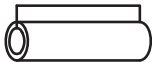
据付工事担当のかたへ

室内外ユニットには他に「電気工事担当のかたへ」「試運転担当のかたへ」の説明書が添付してあります。必ず参照してください。

1. 付属品

ペリメーター用床置形・ペリメーター用床置埋込形

次の部品が入っています。ご確認ください。

	名称	形状	個数	備考
冷媒配管用	フレア接続配管		1	ガス管用
	フレア断熱材		1	ガス管・液管用
	断熱テープ（白色）		1	ガス管 液管 フレアナット部用
	断熱テープ（黒色）		1	
	ビニールクランパー		1	ガス管用（2本）・液管用（2本） ・ドレン配管用（3本）
ドレン管用	断熱テープ（黒色）		1	冷媒配管用より長い
	ドレン断熱材（表皮灰色）		1	

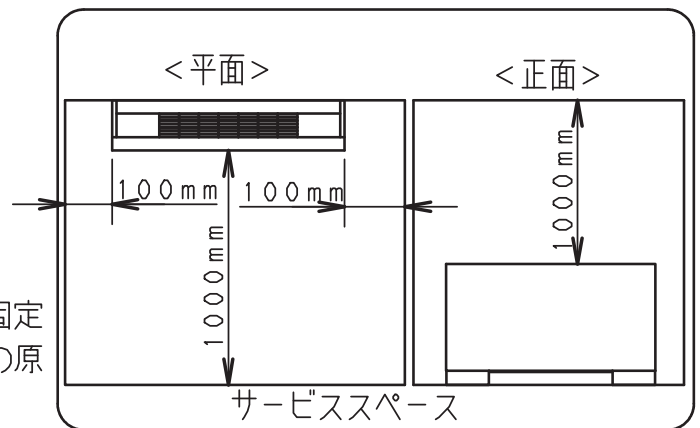
2. 据付場所

1. 冷気（暖気）の循環しやすい場所に据付けてください。吹出口の風の通路には障害物がないようにしてください。



注意

2. 地震等で倒れないように、アンカーとの固定は必ず行ってください。転倒などによる事故の原因になることがあります。
3. 運転音が増大しないような場所に据付けてください。
4. 必ず水準器で水平を確認してください。水平でない場合、水漏れの発生するおそれがあります。
5. アンカーボルトはM8（現地調達）で固定してください。レベル調整用ボルトで水平設置した後、床とのすき間が生じた場合は、現地調達部材ですき間を埋めてください。（すき間を埋めずに締付けると固定箇所が変形し、固定が不十分になります。）



注意 特に下記のような場所への据付けは、避けてください

1. 油を多量に使用する中華料理店などの調理場や工場の機械設備の近くには、室内ユニットを据付けないでください。油が熱交換器や、樹脂部品等に付着して、能力の低下、霧吹き、露飛びの発生、樹脂部品の変形や破損の原因になります。
2. 可燃性ガスの発生、滞留、漏れのおそれのある所は、避けてください。発火の原因になることがあります。
3. 亜硫酸ガス、腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

4. 高周波が発生する機械のある所は避けてください。
5. 火災警報器と吹出口は、1.5m以上離してください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、「▲ 警告」、「▲ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注意 取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

* 据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れのしかた説明してください。また「据付工事担当のかたへ」、「電気工事担当のかたへ」は、「取扱説明書」とともに、お客様で保管頂くように依頼してください。



警告 言 口

- 据付工事は、R410A用に製造された専用のツール・配管を使用し、確実にこなしてください。使用しているHFC系冷媒（R410A）は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据え付けに不備があると、破裂・けが・または水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」に従って確実にこなしてください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については販売店と相談して据え付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。（ビル用マルチの場合）
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実にこなしてください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- アース工事をこなしてください。（電気工事士の資格のある方がこなしてください。）アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線等に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
- 漏電しや断器（全極開閉機能付）を取り付けてください。漏電しや断器が取り付けられていないと故障や感電、火災の原因になることがあります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- 台風・地震などに備え所定の工事を行ってください。
- 付属品および別売品は当社指定の部品を使用してください。



注 意

- ドレン配管は、「ドレン配管のしかた」に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。
- 冷媒配管の断熱は、「据付工事担当のかたへ」に従って確実に断熱してください。断熱しないと、水漏れや、やけどの原因になることがあります。

パナソニック株式会社 設備ソリューションズ事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

© Panasonic Corporation 2011-2023

ACXF60-20393
8546436944203
BE0211-30523

3. 据付寸法と各部名称

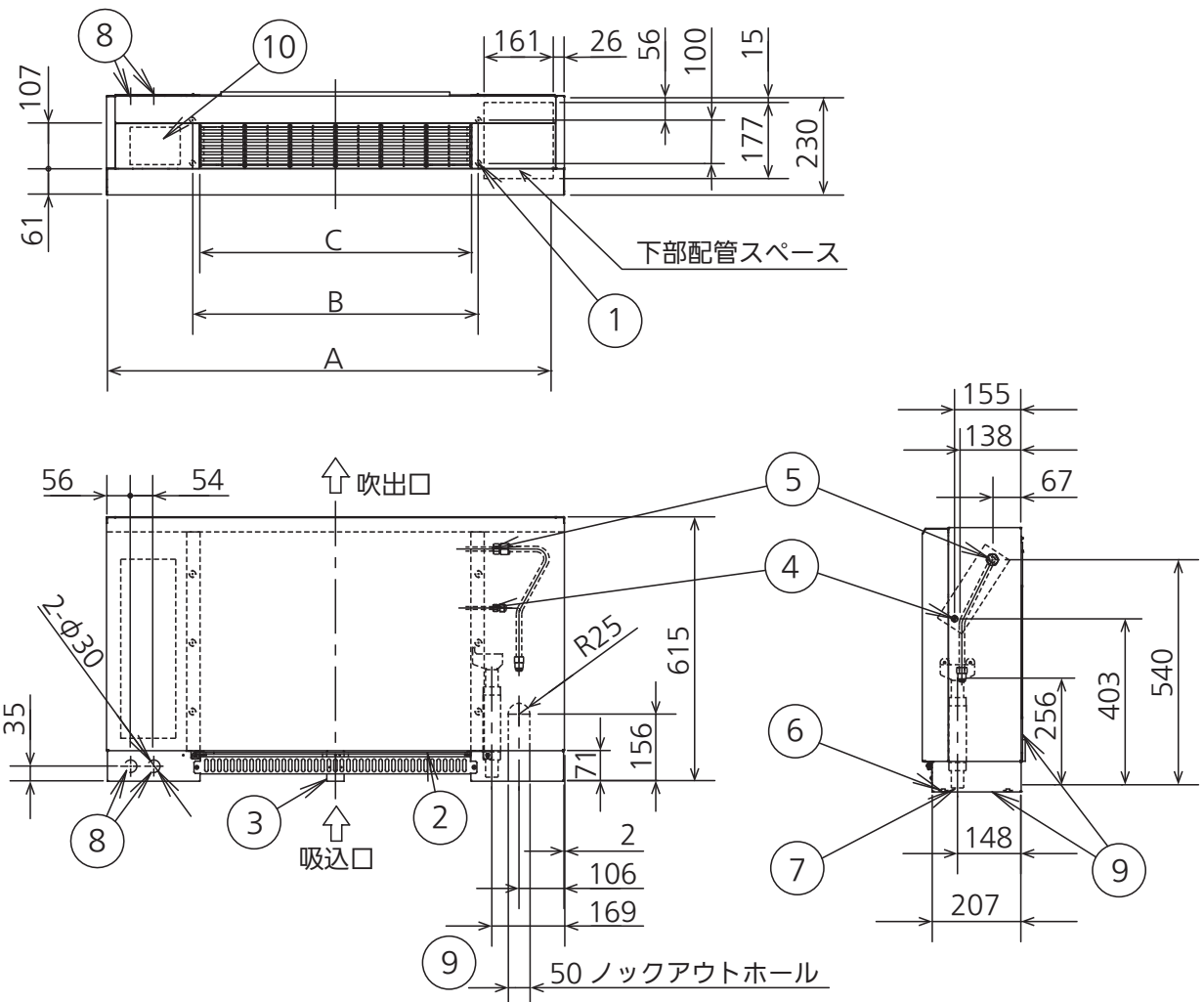
1. ペリメーター用床置形

- ① $\phi 12$ 穴 $\times 4$ か所 (床面固定用)
M8アンカーボルト (現地調達)
- ② エアフィルター
- ③ 台脚 (80形のみ)
- ④ 冷媒配管 (液管)
- ⑤ 冷媒配管 (ガス管)
- ⑥ レベル調整用ボルト
- ⑦ ドレン接続口 (VP20)
- ⑧ 配線取入口
- ⑨ 冷媒配管取出口 (下方向、後方向)
- ⑩ リモコン組込位置 (CZ-10RT3P (N))
(リモコンは居住空間にも取付け可能)

	A	B	C	液管	ガス管
28・36形	1065	665	632	6.35	12.7
45形	1170	770	737	6.35	12.7
56形	1380	980	947	6.35	12.7
71形	1380	980	947	9.52	15.88
80形	1800	1400	1367	9.52	15.88

ペリメーター用床置型

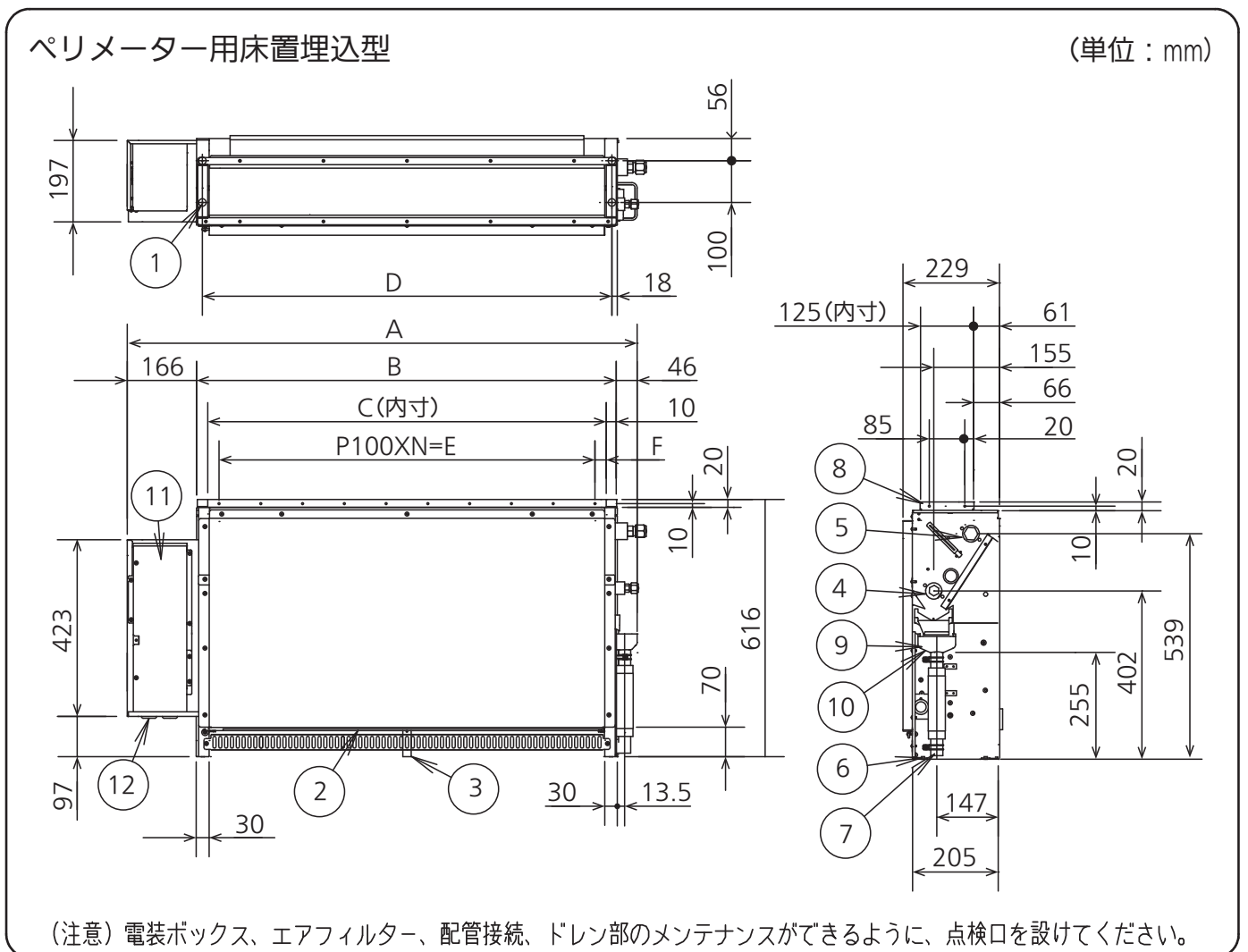
(単位: mm)



1. ペリメーター用床置埋込形

- ① φ12穴×4か所 (床面固定用)
M8アンカーボルト (現地調達)
- ② エアフィルター
- ③ 台脚 (80形のみ)
- ④ 冷媒配管 (液管)
- ⑤ 冷媒配管 (ガス管)
- ⑥ レベル調整用ボルト
- ⑦ ドレン接続口 (VP20)
- ⑧ 吹出ダクト接続フランジ
- ⑨ ドレンフィルター
- ⑩ ドレンパン
- ⑪ 電装ボックス
- ⑫ 配線取入口

	A	B	C	D	E	F	N	液管	ガス管
28・36形	904	692	672	665	500	86	5	6.35	12.7
45形	1009	797	782	770	700	41	7	6.35	12.7
56形	1219	1007	1002	980	900	51	9	6.35	12.7
71形	1219	1007	1002	980	900	51	9	9.52	15.88
80形	1639	1438	1427	1400	1300	69	13	9.52	15.88



4. 前パネルの開け方と閉じ方の注意

ペリメータ-用床置形

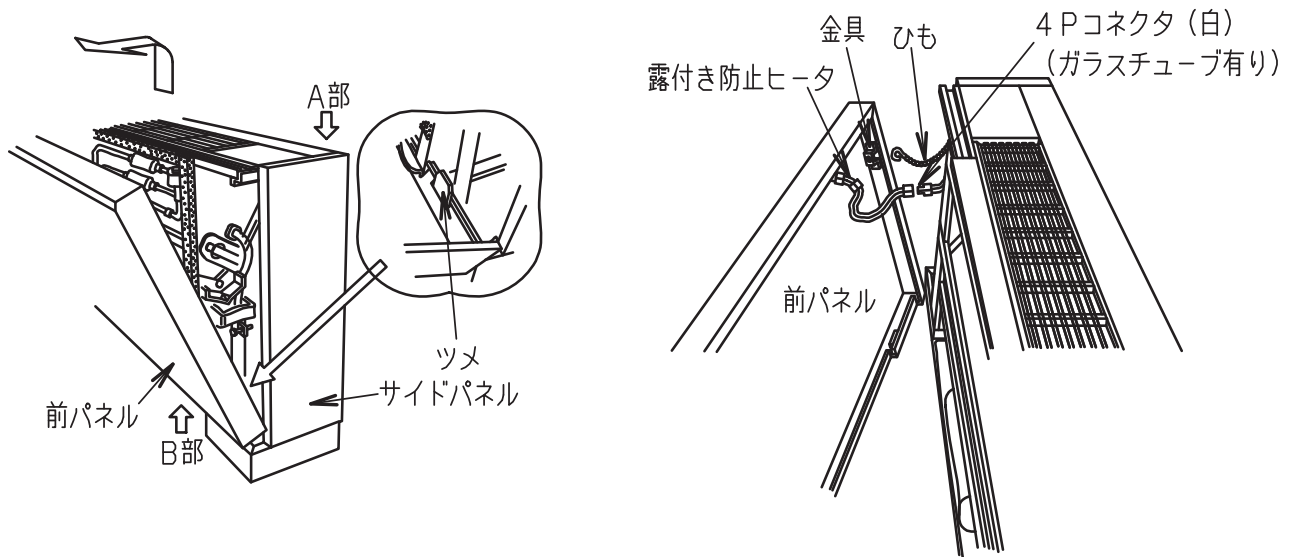
前パネルには固定用のネジ、および「露付防止ヒータ」が取付けてあります。特にヒータの線を破損しないように以下の手順に従い、作業を行ってください。破損すると露付きや感電するおそれがあります。

【前パネルの開け方】

- ① 前パネル下部のネジ（2か所）をはずしてください。
- ② A部（2か所）を押さえ、B部（2か所）を押し上げてください。
- ③ 露付き防止ヒータのガラスチューブ、クランパー1本をカットし、横にずらし、配線用コネクタ（白）をはずしてください。
- ④ 本体とパネルを接続している「ひも」を前パネルに取付けた金具からはずしてください。

【前パネルの閉じ方】

- ① 本体とパネルを接続している「ひも」を前パネルの金具に固定してください。
- ② 露付き防止ヒータの配線コネクタを接続し、ガラスチューブをかぶせ、クランパーで固定してください。
- ③ 本体下部にあるツメ（2または3か所）と前パネル下部にある切欠き穴を合わせ、上から押さえるように固定してください。
- ④ 前パネル下部のネジ（2か所）を固定してください。



5. 冷媒配管のしかた

1. ガス管は付属のフレア接続配管を用いて接続してください。
2. 配管取出し方向は、下方向、後方向の2方向を選択することができます。（床置形）
 - (1) 後方向の場合には、背面パネルにある「後配管取出し口」を利用して配管してください。
 - (2) 下方向の場合には、図に示す寸法を参考にしてください。

警告

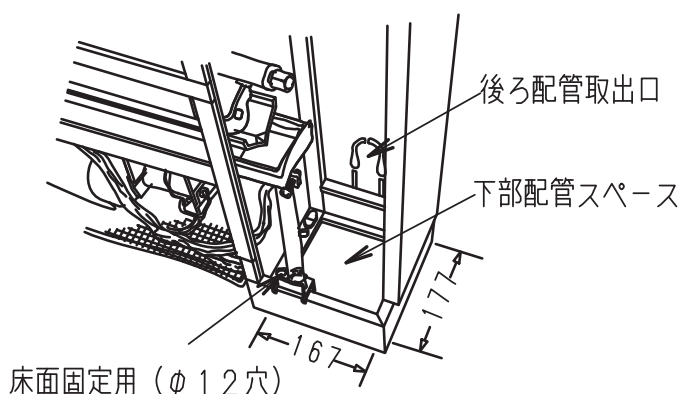
3. 配管接続口のフレアナットをはずすとき、および配管接続後にフレアナットを締付けるときは、必ずスパナ2丁掛けで作業を行ってください。フレアナットの締めすぎによるフレア部の破壊を防ぐため、下表を目安に締付けてください。フレアナットを締めすぎると、フレア部を破壊し、冷媒漏れによる酸欠事故の原因となります。

注意

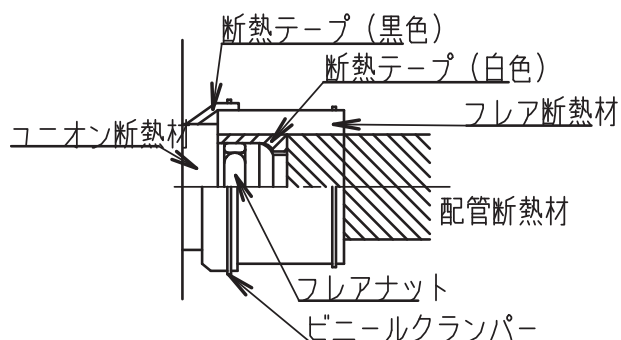
4. ガス管・液管とも必ず断熱を行ってください。
 - ① フレアナット部には付属の断熱テープ（白色）を巻き付けてください。
 - ② 配管接続後、付属のフレア断熱材を巻き付けてください。
 - ③ 最後に結合部のスキマに付属の断熱テープ（黒色）を巻き付け、ビニールクランパーで両端を固定してください。

パイプ径	締付けトルク
φ6.35 (1/4")	14~18N・m (140~180kgf・cm) 接続銅管肉厚 0.8mm
φ9.52 (3/8")	34~42N・m (340~420kgf・cm) 接続銅管肉厚 0.8mm
φ12.7 (1/2")	49~61N・m (490~610kgf・cm) 接続銅管肉厚 0.8mm
φ15.88 (5/8")	68~82N・m (680~820kgf・cm) 接続銅管肉厚 1.0mm

<配管のしかた>



<配管断熱のしかた>



フロン排出抑制法 第一種特定製品

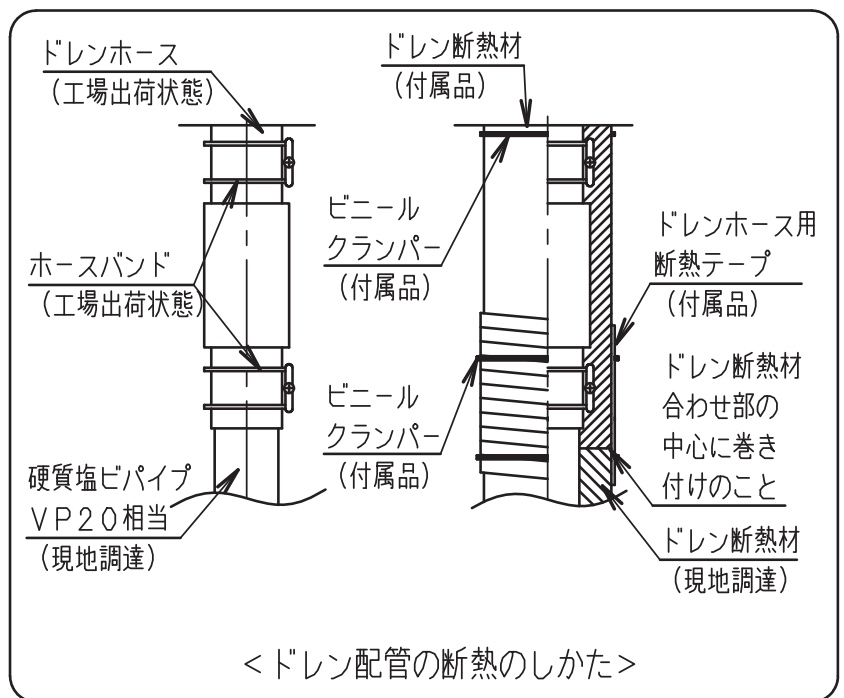
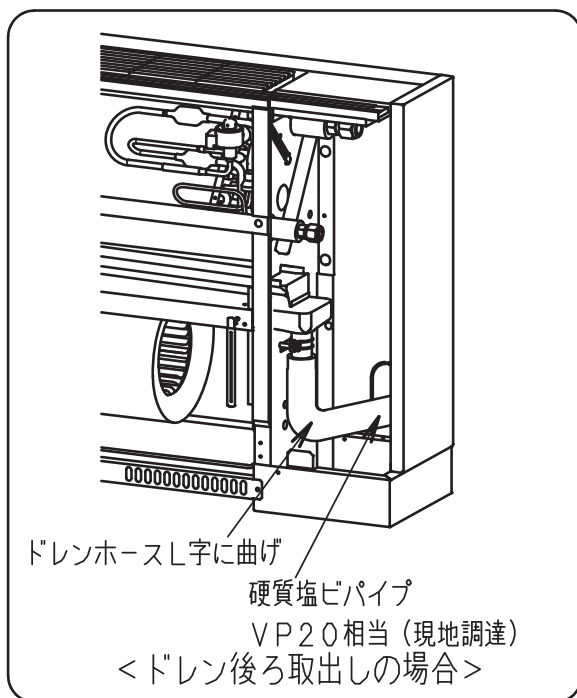
- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- 2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 3) 冷媒の数量は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長により異なります。
システム全体の数量は、室外ユニットに記載されています。
- 4) 使用しているフロン類の地球温暖化係数は、2090です。



6. ドレン配管のしかた

⚠ 注意 不備があると、水漏れの原因になることがあります。

- ① ドレン配管を後出しにする場合には、本体に取付けてあるドレンホースをL字に曲げて、ドレン配管（現地調達）を接続し、後面の配管取出し口からドレン排水するようにしてください。
ドレン配管には硬質塩ビパイプ（VP20）を使用してください。
- ② ドレン配管は必ず下り勾配（1/100以上）とし、トラップ、配管のつぶれ等がないようにしてください。
- ③ ドレン配管にも必ず断熱するようにしてください。
- ④ 配管工事終了後、排水がうまく行われるかドレンパンに注水して確認してください。
- ⑤ ドレンパンの排水口のまわりにごみ詰まりがないように清掃してください。



7. リモコン本体の組込みのしかた

床置形

床置形は、CZ-10RT3P(N)のリモコン（別売：ワイヤードリモコン）を本体に組込み可能です。他のリモコンをご利用の場合は、外付けのみとなります。

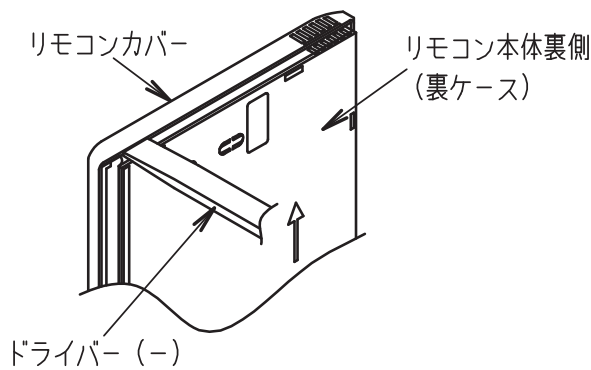
- ① 別売リモコンのカバーをはずしてください。（A図）
- ② 前パネルを開けて、図の2つのネジをはずし、固定金具をはずしてください。（B図）
- ③ リモコンを図のように本体の取付けスペースに押し込んでください。
このとき2本の配線はリモコン裏面の中央に寄せ、配線取出口から出るようにしてください。

⚠ 注意

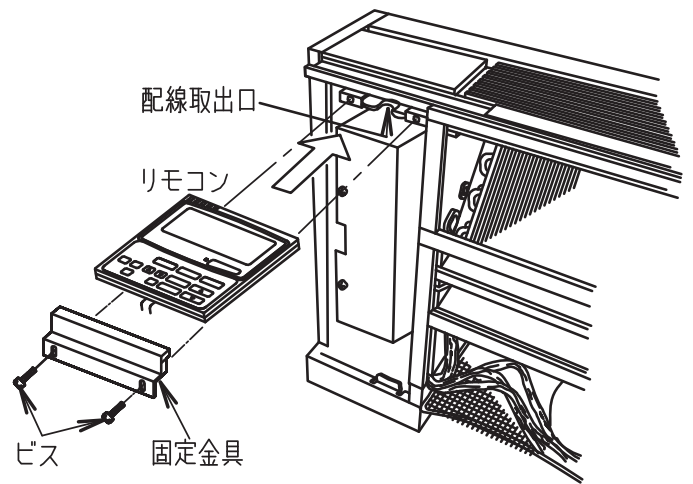
「親子リモコン制御」などを行うためには、裏ケースをはずして内部のリモコンアドレスコネクタを差換えてください。（詳細はリモコンに付属されている説明書を参照）

リモコンを組込んだあとではこの作業は出来ません。これらの設定が終了してから組付けてください。

- ④ 固定金具を取付けてください。



※リモコンカバーと本体の間の図の位置に
マイナスドライバーの先端を差し込み、
矢印方向に回転させる。
A<リモコンカバーのはずしかた>



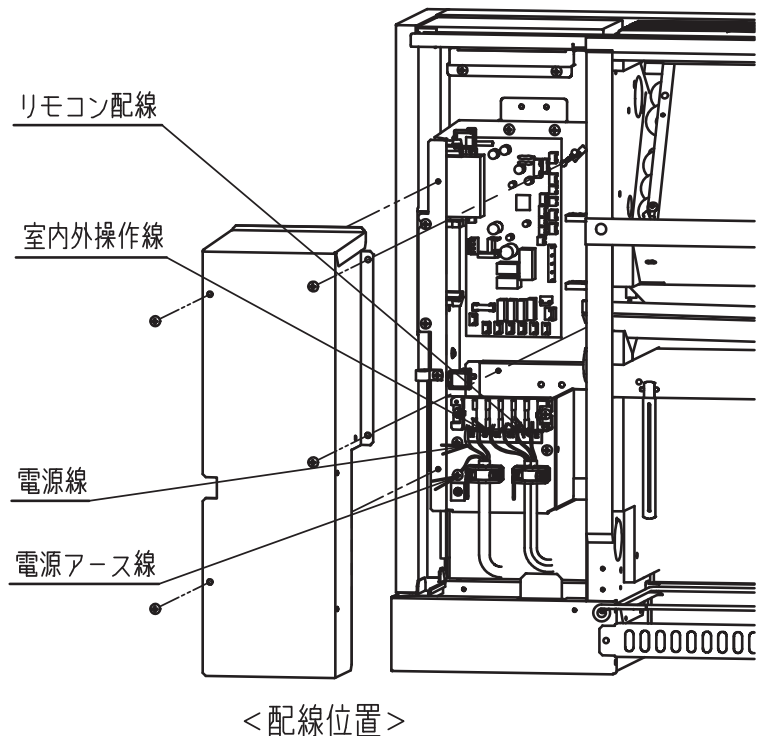
B<リモコンの組込みかた>

8. 電源配線のしかた

電源配線、室内外操作線、リモコン配線は
図の位置に行ってください。

「電気工事のかたへ」を参照してください。

(1) リモコン線は無極性です。



9. その他の注意事項

- ・据付けに当たっては、「高圧ガス保安法」「冷凍保安規則」および高圧ガス保安協会制定の「冷凍空調装置の施設基準」を満たすように設置してください。
- ・電気工事および接地工事は「電気設備に関する技術基準」「内線規程」およびパッケージエアコンの電源仕様（電気工事担当のかたへ）」に従ってください。
- ・床置形の吹出口の風の方角を換える場合
製品天面右側のふたをはずし（ツメ部分を内側に押えるとはずれます）
板金固定ネジ3本をはずし、吹出口グリルを横に移動させるとはずれます。
吹出口グリルを90度回転させ挿入してください。